学校番号	４０１

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂版　高校生の音楽２」　（音楽之友社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽Ⅰで学んだことを基礎に、生涯にわたって音楽を楽しんでいくための素地を作りましょう。ただやみくもに音をならしても、音楽にはなりません。どのように表現すればよいのか試行錯誤しながら音楽を作っていくのはとても楽しいものです。アンサンブルを作っていく過程で、よりよい表現をするために自分たちで試行錯誤できるような機会を多く作っていきたいと思います。

2　学習の到達目標

歌唱：より豊かな表現方法を学び、多くの楽曲と触れ合う
器楽：アンサンブルの技術、楽しさを学ぶ。多くの楽器を体験させることで、自分に合った楽器や音楽を探る手助けをする。
この２本を柱に、人との関わり方を学び、物事を深く積極的に考え、行動する力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・実技テスト ・観察 ・ワークシート	・実技テスト ・観察 ・ワークシート	・実技テスト ・観察 ・ワークシート	・レポート ・観察 ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 「遠い日の歌」 混声3部合唱	○	○	○		a:曲想に関心を持ち、合唱する学習に主体的に取り組もうとしている。パート練習に主体的に取り組んでいる。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	・演奏の聴き取り ・観察
	身体を使ったリズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】 ボディパーカッション「Music for Hand Clapping」	○	○	○		a:ボディーパーカッションアンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に仲間と協力し、取り組もうとしている。 b:曲の構成や演奏法よる効果を感受しながら、独自の表現を工夫している。 c:曲の構成や演奏法による効果を感受しながらアンサンブルを楽しむために必要な読譜力や技能が身についている。 d:音楽を形づくる要素を知覚、感受し、演奏者の表現を味わっている。	・演奏の聴き取り ・観察 ・レポート
		【鑑賞】 STOMPのライブ映像	○			○	a:ボディーパーカッションアンサンブルに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:演奏法と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、よさを創造的に味わって鑑賞している。	・ワークシート ・観察
	ギターでアルペジオ奏法の弾き語りをしよう	【歌唱】【器楽】 「Let it be」「大きな古時計」「明日があるさ」「手紙」「トイレの神様」より選択	○	○	○		a:ギターのアルペジオ奏法に関心を持ち、それら生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、意図を持って表現している。 c:アルペジオ奏法の技能を身に付け、創造的に表現している。	・演奏の聴き取り ・観察
2	アカペラの合唱に挑戦	【歌唱】 「ほたるこい」 同声3部合唱	○	○	○		a:曲想、歌詞が表す情景や心情に関心を持ち、イメージをもって合唱する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニー、速度、強弱など音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法などの技能を身につけている。	・演奏の聴き取り ・観察

2	ゴスペルに挑戦	【歌唱】【器楽】 映画「天使にラブソングを･･･」より“Hail Holy Queen”	○	○	○	○	a:ゴスペルの文化的・歴史的背景やラテン語に関心を持ち、グループで協力しながら主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニー、リズム、速度、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、独自の表現を創意工夫している。 c:発声、呼吸法、ラテン語の発音、ボディパーカッションなどの技能を身につけ、創造的に表現している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受し、演奏者の表現を味わっている。	・演奏の聴き取り ・観察 ・ワークシート
	三線アンサンブルに挑戦	【歌唱】【器楽】【創作】 「涙そうそう」 「島人ぬ宝」 「島唄」より選択	○	○	○	○	a:三線の音色や奏法に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色やリズムなど音楽を形づくる要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するか、アレンジするかについて表現意図をもっている。 c:アレンジに必要な創作技能やアンサンブル練習に必要な基本技能を身に付け、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受し、演奏者の表現を味わっている。	・演奏の聴き取り ・観察 ・ワークシート
3	日本歌曲美しさを味わおう	【歌唱】 「初恋」 (独唱)	○	○	○	○	a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるために必要な発声、日本語の発音、呼吸法などの技能を身に付けている。 d:歌詞の内容や背景を理解し、美しさを創造的に味わっている。	・演奏の聴き取り ・観察
	班別自由演奏発表に向け、取り組む	【歌唱】【器楽】【創作】 自由課題 (曲、楽器編成、アレンジ等、各グループで決める)	○	○	○	○	a:課題のアレンジや練習に主体的に取り組もうとしている。またグループ内に目配りし、コミュニケーションを取りながら取り組んでいる。 b:音楽を形づくっている要素を知覚、感受し、どのように演奏するか、アレンジするかについて表現意図をもっている。 c:アレンジに必要な創作技能やアンサンブル練習に必要な基本技能を身に付け、創造的に表している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受し、演奏者の表現を味わっている。	・演奏の聴き取り ・観察 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。